

授業科目 衛生学・公衆衛生学

【担当教員名】 和唐正勝	対象学年	2	対象学科	薬*
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
人々の健康を保持増進するための取り組みについて、個人と社会の観点から学ぶ。

- 【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
1. 衛生・公衆衛生活動の意義と目的について説明できる。
  2. 疫学的病因論について説明できる。
  3. 病気とその予防法について説明できる。
  4. 環境と健康との関わりについて説明ができる。
  5. 様々な保健衛生活動について、その取り組みの内容を説明できる。
  6. 保健・医療制度とその動向について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1. 衛生・公衆衛生の歴史と概要	1	講義 和唐
	2. 病因論と疫学	2	講義
	3. 感染症とその予防	3	講義
	4. 生活習慣病とその予防	3	講義
	5. 環境と健康	4	講義
	6. 空気と健康	4	講義及び実習
	7. 水と健康	4	講義及び実習
	8. 母子保健	5	講義
	9. 産業保健	5	講義
	10. 老人保健	5	講義
	11. 精神保健	5	講義
	12. 保健制度とその活動	6	講義
	13. 医療制度とその活動	6	講義
	14. ヘルスプロモーション	6	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	シンプル衛生公衆衛生学(鈴木庄亮, 久道茂編, 南江堂)			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 授業参加20%、試験80%	【履修上の留意点】
-------------------------	-----------